

事例3 日常生活の指導「歯磨きをしよう」授業の実践（小学校特殊学級） （長期の休み前の歯磨き指導を通して）

1. 学級の概要

(1) 児童数

学 年	2 年	3 年	4 年	5 年	合計 (名)
男子	1	1	1	0	3
女子	2	0	0	1	3
計	3	1	1	1	6

(2) 指導体制

①担任2名（教諭1名，講師1名）

②児童の実態や状況に応じて，グループ指導，一斉指導の形で主担任・副担任の役割分担を決めて（TT方式），情緒障害学級との合同学習，協力学級との交流学习という形態で指導を行っている。合同学習は，主に生活単元学習にて。

③給食，清掃，学校・学年行事，委員会活動，クラブ活動においては全員交流を実施している。清掃は，1～6年生混合の縦割り清掃に参加。

(3) 週時程表

曜日	月	火	水	木	金
	朝自習	全校朝会	朝自習	朝自習	朝自習
1	日常生活の指導	日常生活の指導	生活単元学習	日常生活の指導	日常生活の指導
2			生活単元学習		
中休み	自由遊び	体力作り	なし	自由遊び	体力作り
3					
4					
給食					
昼休み					
清掃					
5				教科 児童集会	
6	1・2年は，4時間授業	総合的な学習 1・2年は5時間		総合的な学習 1・2年は5時間	委員会 クラブ

※朝自習時には，担任が1名交代でついている。主に，「くらしちょう」と名付けている紙に日付・曜日・天気・今日の予定などを書く，身の回りの整理整頓など。

※水曜日は午前5時間授業で，中休み・清掃がなし。

※水曜日の生活単元学習は，情緒障害学級との合同学習。

※各教科等 については，児童の実態に応じて設定。

※総合的な学習は，協力学級に参加する場合と，学級で取り組む場合がある。

尚、時間の設定は各学年によって異なる。

(4) 年間指導計画及び生活単元学習年間指導計画（資料 1，資料 2 参照）

2. 実践の経過

(1) 実践の概要

本学級（校内では「みどりの教室」と呼ばれている）の児童は、全員虫歯があり、虫歯の状態が進んでいる児童もいる。また、歯医者さんに行くことに抵抗感をもっている児童もいる。

虫歯予防の一環として、学校では、給食後音楽に合わせて歯磨きをしている。協力学級で歯磨きをしている児童が3名、担任が付き添って給食を食べている児童3名は学級に戻り歯磨きをしている。虫歯にならないようにと声を掛け、歯磨きをしているものの、児童自身イメージできているのか、必要感を感じることができているのかということには不安があった。また、夏休みを控えていたことから、休み中家庭でも児童が歯磨きを続けられることを願い本単元を設定した。

児童らが、歯磨きを進んでできるようになるために、次のことが大切だと考えた。

- ①歯磨きに興味を持つこと
- ②自分自身の虫歯のことを知りどうすれば良いかの見通しを持つこと
- ③正しい磨き方を知り、実際にやってみてできるという自信を持つこと
- ④歯磨きをすることで虫歯の予防ができるということがわかること
- ⑤できるだけ一人一人が活動および体験できる時間を十分取ること

本単元の授業が、歯磨きの習慣化のきっかけとなって欲しいという願いもあった。そのために、保護者と協力して学習を進めることと、本校では、養護教諭が各学年に入り授業の中で歯磨き指導をすることは行われていたので、養護教諭と一緒に授業作りをする考えた。

(2) 児童の実態

A 児	今年度、本校に転校してきた児童である。集中できる時間が短いので、1対1で声掛けをしながら歯磨きをしている。力はあるが、まだ歯ブラシをうまく使うことができていない。歯ブラシをちゃんと歯に当てて磨くことで、磨き残しがとれることに気づかせたい。 （目標）○歯にきちんとブラシを当てて磨くことができる。 ○きれいにすると、気持ちがいいとすることができる。
B 児	今年度も、昨年度も歯科検診の時欠席をしたため（今年度からみどりの教室に入級）、虫歯の状況が把握できていない。保護者に歯科医で検診を受けることができることを伝え、勧める。協力学級で磨いているので、磨き残しの様子から今までの磨き方を振り返るようにし、磨き方の再確認をしていきたい。 （目標）○虫歯の原因が磨き残しであることがわかる。 ○歯ブラシの「かかと」「けさき」を使って磨くことができる。
C 児	2年生になって歯ブラシの使い方が上手になってきた。1対1で歯磨きをしている。また、鏡を見て磨くことに興味が出てきたので、時折、鏡の前で磨いている。永久歯がそろそろ出てきている。まだ言葉だけではうまく理解できないので、ばい菌人形を使いながら、虫歯になりたくないという気持ちを高め、歯を磨こうという気持ちにつなげたい。 （目標）○虫歯にならないために歯磨きをしようという気持ちを持つことができる。

	○歯をきれいにすると気持ちがいいことを意識できる。 家庭で歯磨きをするよう声掛けをしているので、虫歯の本数は3本と少ない方である。
D 児	協力学級で歯磨きをしているので、本児が歯磨きの必要性を感じ取ったり、歯を磨くとさっぱりすることを感じ取ったりすることで、自ら進んでできるようにさせたい。また、これから、歯の生え替わる時期になるので、上手な磨き方のコツを教えながら予防をしていきたい。 (目標) ○虫歯にならないために歯磨きが必要であることがわかる。 ○歯ブラシの「かかと」「けさき」使った磨き方を覚えることができる。
E 児	以前、協力学級で歯磨きの指導を受けたとき、前歯の磨き方を教えてもらったとみんなの前で実演したことがあった。虫歯にならないために歯磨きが必要であることも理解できている。しかし、その日の気分や、やりたいことがあるときは手早くすませてしまうことがある。上手に磨けることに自信を持たせたり、機会を見て歯磨きのことを話題に出したりすることで持続できるようにさせたい。 (目標) ○磨き残しの部分がどこなのかを知り、普段の歯磨きでも気をつけて磨くことができる。 ○きれいに磨くと、見た目も、口の中もさっぱりきれいになるよさに気づくことができる。
F 児	上の前歯が虫歯でほとんど無く、1対1で歯磨きを行っている。力が弱いので、うまく歯に歯ブラシを当てて磨くことができないが、歯に当てる感じをつかんで欲しい。以前より歯の裏側を磨くときの歯ブラシの使い方が上手になってきている。何事も前向きに取り組んでいる。できるようになったことに自信を持ち、保護者の協力を得ながら虫歯予防をしていきたい。 (目標) ○虫歯を作らないために、歯磨きが大事であることがわかる。 ○歯に歯ブラシを当てて磨く感じをつかむことができる。

(3) 単元の指導計画「歯磨きをしよう」(3時間)

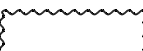
小 単 元 名	時間	ね ら い	主な学習活動	準 備
自分の歯を知ろう (5月)	1	◎歯科検診の結果から自分の大人の歯(永久歯)、子どもの歯(乳歯)、虫歯の数を知ることができる。	○健康ノートに健康な歯、治療した歯、虫歯などシールで色分けをして貼ったり、乳歯・永久歯の数を数えて数字をノートに書く。	・健康ノート ・シール
はみがき チャンピオン になろう (7月)	1	◎磨いた後、汚れがどこについているか、鏡を見たり、教えてもらったりして知ることができる。 ◎口の中をきれいにしたときの気持ちよさを感じることができる	○カラーテスターを使って磨き残しを確かめる。 ○鏡を使って磨きのこそを確かめ、健康ノートに記入し発表する。 ○歯磨きのテープに合わせて磨く。 ○汚れが取れたことを確認する。	・手鏡 ・カラーテスター(液状) ・歯と歯ブラシの模型 ・健康ノート ・歯磨きのテープ
口の中をきれいにしよう (12月)	1	◎鏡を見ながら、汚れを取るることができる。 ◎磨き残しやすいところがわかり意識して磨くことができる。	○カラーテスターで磨き残しを確かめる。自分で、もしくは教師と一緒に鏡を見ながら汚れを取る。 ○磨き残しの部分に気をつけて磨く。	・カラーテスター ・手鏡

(4) はじめの授業展開と児童の様子

7月の授業では、「はみがきチャンピオンになろう」というめあてにした。児童の「口口のチャンピオン」という発言があり、何か競争したりするときや活動したりするときこの言葉を使うようになった。それで、歯ブラシの使い方が上手な人がチャンピオンという意味で用い、意欲づけを図ろうと考えた。

学習内容	(○) 学習活動 (※) 指導上の留意点 (・) 個々の目標および評価					
	A	B	C	D	E	F
1 挨拶 2 課題の把握〈担任〉	○いつもの歯磨きの仕方では、どこに磨き残しがあるか鏡を使って確かめ、健康ノートの歯の図にその場所を記入する。発表する。 ※錠剤のカラーテスターを使うと時間がかかること、うまくかめないことが予想されるので、液体でうがいをするタイプの物を使う。					
	・赤くなっているところがちゃんと磨かれていないところだということを教えてもらってわかる。	・自分で鏡を見て、赤くなっているところに気づき、保護者または教師に伝えることができる。	・保護者と一緒に鏡を見て赤くなっているところに気づくことができる。	・赤くなっているところがどこか指で指し示すことができる	・赤くなっているところを指で指し示したり、言葉で伝えたりできる。	・赤くなっているところがちゃんと磨かれていないところだということを教えてもらってわかる。
	・赤くなつた歯を見て、少し興奮する。前歯のところを記入できた。赤いところを磨いてきれいにすることはわかった様子であった。	・照れからであると考えるが、保護者の話を聞くことができない様子が見られたので言葉掛けをした。教師と一緒に歯の図に記入。全体的に赤くなっていた。	・母親がそばに寄り添って見てくれていたので安定した様子であった。鏡をのぞき込み自分から歯の様子を見ていた。前歯と奥歯の部分。	・母親や教師の声掛けに応じて汚れているところを意思表示できた。比較的きれいである。磨きの腰は、歯と歯の間。	・教師の問いかけに答えることができた。磨きの腰は前歯と奥歯。	・うがいをしたら歯が赤くなったのを見てびっくりし、泣いてしまった。赤いところがちゃんと磨かれていないので、これから歯を磨いてきれいにする話を話すと落ち着いた。
3 歯ブラシの「かかと」「けさき」を使うことで磨き残しがとれることに気づく〈養教〉	めあて：はみがきチャンピオンになろう ○歯ブラシの模型を見ながら、歯ブラシの部分の話を聞く。 （「つまさき」「かかと」「わき」「けさき」） ○模型を見ながら、「かかと」「けさき」を使った磨き方を見てまねをしてみる。 ※説明の後、黒板に「かかと」などの文字を貼っておく。					
4 習った磨き方を意識して磨く〈養教〉〈担任〉	○はみがきタイムの音楽に合わせて、習った磨き方を使いながら磨く。 ※一区切りずつでテープを止め、ポイントを説明しながら進める。					
	・補助をしてもらいながら磨き方を覚えることができる。	・一人でまねをしながらか磨くことができる。	・声を掛けてもらいながら、できるだけ一人で磨くことができる。	・必要なときに補助をしてもらいながらか磨くことができる。	・一人でまねをしながらか磨くことができる。	・補助をしてもらいながら磨き方を覚えることができる。

・やり始め 手伝っても らうが、そ の後自分 で磨くこ とができ てい た。	・指示を聞 いて一人 で磨くこ とができ た。	・母親が見 守る中、 一人 で磨くこ とができ てい た。	・時折補助 をしてもら うが、一人 でも磨くこ とができ た。	・一人で磨 くことが できた。つば がたま たがって い た。	・歯に当 っているこ とを意識 させながら磨 かせた。
○磨いた後、写真を撮りチャンピオンシールをもらう。 ○お母さん方も体験してみる。					

※  は、児童の様子および評価

(5) 授業作りの検討事項および留意点

前 時	本 時
●目標の「はみがきチャンピオンになろう」は実感できていたかどうか？子どもたちのがんばりをもっと誉めチャンピオンシールを挙げた方がよかった。	●目標…「歯をそうじしてきれいにしよう。」はどうか。児童が身近に使っている言葉の方がわかりやすいのではないかということから。
●内容が多かったのではないか（テスター・ノートへの色塗り・発表・歯みがき・確認・お母さんたちの歯磨き）。従って、意欲を持ってというより、どちらかというと活動をこなすことで精一杯だったのではないか。次々と活動があったので見通しを持ちにくかった。	●紙芝居・テスターを使っの歯磨き導・きれいになったか「はみがきマン」に見てもらうの大きく3場面。活動を整理することで、わかりやすくなり、見通しを持ってできるのではないか。 ●磨く活動の時間を十分確保することで満足感が得られるのではないか。
●子どもたちの実態をふまえた細かな打ち合わせが必要であった。	●歯磨き指導は、豊川先生（養教）の提案で、「歯」「奥歯」の2ポイントに絞る。特に虫歯の多い場所ということ。
●役割分担が明確でなかった。 ●6人 横並びでは、指導が行き渡らない。	●教師3名で2名ずつ担当し、個別指導で対応する。
●教師の子どもたちへの支援の反省 ・立ったまま見下ろす感じで話している。 ・子どもがつばが出たと訴えているにもかかわらず流れに強引にのせようとしてしまっていた。意欲の低下をまねいていた。 ・指導者の焦りからか、子どもたちのがんばりへの声掛けがほとんど無い。	・子どもに伝わるような目線、立つ位置を考える。寄り添うような感じで。 ・ちゃんと子どもの言葉を受け止め臨機応変に対応できる柔軟性と余裕を持つことが必要。つばは、コップに出すようはじめに約束をする。それでも気持ち悪かったり、うがいをしたい場合は流しても良いことを伝える。 ・がんばりを認める声掛けを意識して。
●お母さん方への配慮、支援不足。	・机の配置も悪かった。自由に動けるような配置にするべき。 ・どのように補助するのかを話す。
●カメラが1台では限界があるし、指導者が動かすのは良くない。	●カメラは、子どもと教師2方向を記録できるように2台設置する。
●しばらく、歯磨き及びばい菌君効果はあった。休み中にはみがきを考えていたのに休み中のカードの活用や意識づけができていなかった。	●冬休みの歯磨きにつながるよう「歯ブラシマン」に歯磨きカードを渡してもら冬休み後、養護教諭にカードを持ってき、朝・晩磨いて20日塗ることができたらご褒美ということで意欲付けを図る。
●カメラで取った写真を生かしていない。	●最後に写真を撮り、それを健康ノート

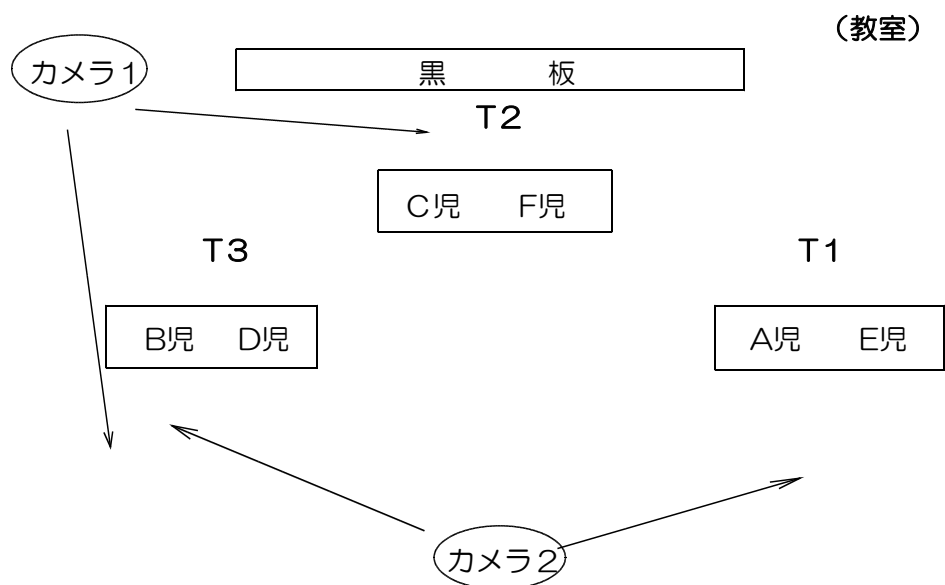
●意欲を持たせるような導入の仕方はないか。	に貼る。
●うがいのカラーテスターで泣いた子がいる。	●児童が好きな紙芝居を用い、意欲づけを図る。
	●今回は、指導者が綿棒で塗る方式を取り、動揺をしないように配慮をする。

(6) 改善した授業展開と児童の様子

小単元名：口の中をきれいにしよう						
題材名：歯ブラシで歯をそうじしよう						
指導内容	(○) 学習活動 (※) 指導上の留意点 (・) 個々の目標および評価					
	A児	B児	C児	D児	E児	F児
1 課題を把握する 一斉 〈担任〉	○「はみがきだいっさいらい」の紙芝居を見て歯磨きの必要性を感じる ※1, 歯磨きがいやだという場面…各自の好きなお菓子を聞いておいしたのも入れて話し、引きつける。 2, 口の中の場面…食べ物のかすを印象づける。 3, 歯が痛い場面…虫歯ができたこと歯医者さんに行くことを確かめる。 4, 歯医者さんの場面…はぶらしマンを声を出して呼ぶ。					
	・最後まで聞くことができ、シールをもらうことができる。	・内容にあったぶやきができる。	・虫歯になったら、歯医者に行くことの話がわかる。	・歯を磨かないので虫歯になったことに気づくことができる。	・虫歯にならないためには歯のかすを取らないことには気づく。	・自分が歯医者さんに行ったときの思い出して聞くことができる。
	・注目でき、反応が返ってきていた。	・虫歯、歯磨きのつぶやきが聞かれた。	・歯磨きのことをつぶやく。虫歯大王にものすごく反応。	・気づいていた様子が見られた。	☆欠席	・歯医者さんに行ったことあると答える。虫歯大王にもものすごく反応。
2 前歯と奥歯の磨き方を知る	※時折、内容に関する質問をし、理解の具合を探る。 ○歯ブラシマンの話を聞く。 はブラシではをそうじして、きれいにしよう。 ①虫歯大王をやっつける道具…歯ブラシ ②みんなの虫歯は、前歯と奥歯にたくさんあります。 だから、今日は、前歯と奥歯を磨く勉強をします。 ○カラーテスターを歯に塗る。 ※教師が綿棒で塗る。うがいは1回であることを知らせる。 ○汚れが付いていることを、鏡で確認する。児童の後ろに立って。 ※前歯と下の奥歯は、鏡を見せながら自分で確認させる。上の奥歯は、見えにくいと思われるので、教師が確認をし教える。 ※一人一人にどこが汚れているか話しながら確かめさせる。 ○模型を使用し磨き方を見せる。前歯・奥歯の順に指導。前歯の上は歯ブラシを立てて、下は横でシャカシャカ鉛筆持ち。奥歯は、ポイントとして歯に当たっていることを確認する。					
個別指導の分担 T1：A児 E児 T2：C児 F児 T3：B児 D児	☆奥歯が虫歯。 ・汚れているところを自分なりの言葉で示すことができる	☆検診欠席。 おそらく奥歯。 ・汚れている部分と言える。	☆奥歯が虫歯。 ・汚れている部分を指さしてできる。まねをして磨くことが	☆状態は良好。永歯を虫にしないうに。 ・汚れているところを自分の言葉	☆状態は良好。永歯を虫にしないように。 ・前歯・奥歯の言葉を使って、汚	☆虫歯が無い。 ・汚れている部分を指さして教えることができる。

	る。まねをして磨こうとできる。		できる。	や指さきで示すことができる。言葉の指示で、動くことができる。	れているところを話し、その部分を磨くことができる。	教師に補助してもらいながら磨くことができる。
	・教師に教えてもらったこともあったが、自分で磨くこともできた。前、このように言えた。	・まねをしながら磨くことができていた。前歯は自分でわかった。奥歯は、鏡を使って教えた。	・鏡を見ながら、一人でも続けて磨くことができていた。	・「ここ」と歯の間を指し示す。歯と歯の間、または隙間という言い方を教える。		・前歯の磨き方を教えてもらい喜んで磨いていた。奥歯に当たるよう指導。
3 休み中の歯磨きに意欲を持つ 一斉 T2 T3	○きれいになったら、みんなに見せる。写真を取る。 ○はぶらしマンのお話を聞く。冬休みが終わったら、持っていくことを約束する。					

◎座席およびカメラの位置について◎



3. 成果と課題

(1) 児童の変容

- ① 普段から取り組んでいる紙芝居を使うことによって、興味をもって話を聞くことができた。
- ② 内容を整理することにより、見通しを持って取り組むことができていたと思う。

③休み中の歯磨きカードはどの子も20個以上塗ることができていた。

④学級の児童全員が歯科を受診した(夏休みは2人,冬休みもしくは冬休み明けは4人)。
授業の効果でないかもしれないがうれしいことである。

⑤前歯・奥歯の磨き方が,習ったやり方でできるようになり,教師がやっていないと「先生こうだよ。知ってるもん。」と発言する児童もいた。

なんといってもうれしく思ったのは,授業が終わってから,歯ブラシマンのお手伝いと称して,全員が使用した用具を持ち「わっしょい,わっしょい。」と言いながら,保健室まで歯ブラシマンの後をついていったことである。やり遂げた充実感が合ったのではないと思う。(残念ながらこのシーンはビデオに収めていなかった…。)

(2) 授業作りの成果

①紙芝居を使ったこと,活動を3つに絞ったことで,子どもたちにとってもわかりやすく意欲を持続することができた。また,磨くことにじっくり時間をかけることができた。

②細かい事前の打ち合わせをすることや養護教諭と連携することで,より個に対応する手だてを考えることができたと思う。また,教師側にゆとりができイコール児童らも気持ちが安定して取り組むことができたと感じる。

③授業をビデオ撮影することで,自分の姿を見ることができ,自分の指導を振り返ることができたのが何よりの収穫である。1回目のビデオを見たときは,とても恥ずかしくなった。普段こうしたいと話していることと違うではないかと思う点が多々あった。自分自身を改善することで,児童らにより良いものを返していきたい。

(3) 今後の課題

①歯を磨く際の鏡は,手持ちよりも卓上式のほうがより磨きやすかったのではないか。

②磨く活動の後サーキット運動でも行っている「ふりかえりタイム」で,がんばりを自分で話したり,お互いに認め合う場を設け,成就感や意欲づけをしたほうが良かったのではないか。

③最後の場面では,歯を見てもらっている子と教師の関わりだけになってしまっていたので,他の子どもたちも関心を持てるように,前に全員を集めみんなで見合うようにすれば関心や意欲がより持てたのではないか。

④歯磨き指導というのは,毎日の積み重ねが大事であると考え。カラーテスターでの確かめを,長期の休み前だけでなく,定期的にも実施することも必要ではないか考える。また,意欲を高める言葉掛けも考慮したい。

圖 1 4 1 成 平 1 菜 園

	年	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	2月	3月
領域・教科を合わせた指導	日常生活学習	朝の会（健康観察・カレンダー・天気・今日の予定・朝の御飯・昨日の出来事・簡単な質問に答える）・挨拶、小動物の世話・畑・給食・清掃（準備・運搬・世話の仕方・畑の手入れ・収穫・花を育てる・配膳・食事・後片付け・備みがき・清掃用具の使い方指導・係の仕事）・排泄・手洗い、うがい・衣服の着脱（下着の使い方がい）の仕方・衣服のたたみ方・気温に合わせた衣服の調節指導）帰りの会（くらしの出来事・明日の予定・下校指導）	※生活単元学習については、別紙計画を参照。									
	25	友だちとなかよく遊ぶ	遊具で遊ぶ・砂遊び	水遊び・自然の物で遊ぶ	ルールのある遊び 遊具で遊ぶ	自然のものを使った遊び 室内での遊び	雪遊び・そり遊び・室内での遊び (生活単元学習とも関連させて)					
共通：日記、紙芝居・絵本の読み聞かせ、日常よく使う漢字の学習、身近な人への伝言												
国語	21	あいさつ・先生や友だちの名前・月日と曜日・身近な言葉を覚えたり、書いたりする・経験したことを書く・絵本や紙芝居を見て楽しむ										
	22	あいさつ・経験したことを話す・話したことを文の形で表す・月日や曜日、身近な人の名前の漢字を読むこと										
	23	1年生～2年生（上）の物語の視写や音読・漢字の読み書き・身近な出来事の作文（2～4文）・絵本ややさしい読み物を読む、内容のあらましが分かる・カタカナの読み書き										
	3	1～2年生位の漢字が含まれた文を読む・短い文の読みとり・身近なカタカナの語句を読みだり書きたりする・絵本、紙芝居を見て楽しむ、内容についての質問に答える										
	4	2～3年生位の物語の視写や音読・聞いた語句や短い文を記憶し、正しく書く・経験したことを書く・身近な人に手紙を書く・物語についての簡単な感想を持つ・漢字の読み書き										
	5	あいさつ・経験したことを話す・話したことを文の形で表す・体験を通して言葉や意味をとらえる・給食のメニューを書いたり実物と照らし合わせて覚えて覚える										
算	24	1～50までの数字の読み書き・形遊び・一桁の足し算、引き算・重い・軽い、長い・短い概念・時刻（○時）・位置（左右、上下）、お金の種類・少額の買い物物の経験										
	25	1～20までの数字の読み書き・10までの数の概念、多少・形遊び、重い・軽い、長い・短い概念・時刻（○時）・お金の種類・少額の買い物物の経験										
	26	千の位の数・2桁の繰り上がり繰り下がりが1回の加減（具体物や図を用いて）・筆算・時刻（○時◇分）・長さ（cm）・重さやかさの比べ方・丁度のお金（百円単位まで）										
	3	百の位の数・仲間集め・形遊び・足し算、引き算の筆算（繰り上がりなし）・位置（左右、上下）・丁度お金・少額の買い物物の経験・時刻（○時◇分）										
	4	万の位の数・かけ算、わり算の筆算・分数・時刻（残り時間）・距離・重さ（はかりの使い方）・おつりのある買い物										
	5	1～100までの数字の読み書き・10までの数の概念、数の多少・お金の種類・少額の買い物物の経験・簡単な分類・時刻（○時）										
音	※2・3・4年生は、協力学級で学習する。ただし、必要に応じてみどりの教室でも時間を取って指導をする。援助が必要な児童には、教師が協力学級へ一緒に行く。											
楽	季節の歌、手遊び歌など教師の真似をして歌う・音楽に合わせて体を動かす・いろいろな楽器に親しむ											
図	※2・3・4年生は、協力学級で学習する。ただし、必要に応じてみどりの教室でも時間を取って指導をする。援助が必要な児童には、教師が協力学級へ一緒に行く。											
工	折り紙製作	粘土・重宝絵	切り絵・糊の絵	誕生会飾り	折り紙製作	スタンブ遊び	紙版画遊び	しおり・はがき作り	列マシ絵割	たこ作り	おにのお面	影・プレート作り
体	※2・3・4年生は、協力学級で学習する。ただし、必要に応じてみどりの教室でも時間を取って指導をする。援助が必要な児童には、教師が協力学級へ一緒に行く。											
育	※サーキットは、情緒障害学級と合同で。											
	5	固定遊具・自転車・模倣遊び、かけっこ	平均台・トランポリン・水遊び	ボールを使った遊び・遊戯	なわとび・マット遊び	雪遊び・そり遊び・スケート						
家庭	5	※みどりの教室で学習するが、調理学習の時は協力学級に参加。										
総合		※児童の実態を考慮し、内容を選択し各学年毎に通常の学級で行われている学習に参加。それ以外には、学級でパソコンの学習をする。										
学		※2年生1名・3年生1名・4年生1名は、協力学級で学習をする。										
活	5	※2年生2名・5年生1名は、みどりの教室で。係の仕事・身の回りの整理整頓・集会活動への参加の基礎作り・安全指導等・クラブ、委員会にも参加										

※本指導計画は、大まかなものであり、個別に指導計画を作成し年間目標（生活・学習・行動面）・学期毎（領域・教科毎）の目標を立てて取り組んでいる。

月	4 月	5 月	6 月	7 月	8 月	9 月	10 月	11 月	12 月	1 月	2 月	3 月
通 年	火田仕事 (うね作り・苗植え、種蒔き) (草取り) (観察) (観祭) ※各学級ごと → (収穫をしよう) → (収穫の始末をしよう)											
	【1学期の誕生会をしよう】 ○誕生会の計画を話し合い、立てられる ○発種を決めて、蒔きをする 【サツマイモ屋さん】 ○収穫したさつまいもの数を数え絵グラフなどに記録したり、大きさを重さ比べをしたりできる。 ○サツマイモを売るための準備をする。 ○集客にサツマイモを売ることで人のかかわりを広げる。 【2学期の誕生会をしよう】 ○1学期と同じ。 【3学期の誕生会をしよう】 ○1学期と同じ。											
各 月	【城山探検】 ◎春を見つけよう ○学校の周りや城山の様子が冬と比べ、どのように変わったか、教師ともしくは自分で見つけられることができる。 ○探検の目標を持つことができる。 【七夕の意味を知る。】 ○自分で願事を考える。 ○七夕パーティーの計画を立てることができる。 【城山探検】 ◎秋をみつげよう ○学校の周りや城山の様子が秋になってどのように変わったか教師と一緒に目標を決める。 ○探検の目標を持つことができる。 【合同バス遠足に行こう】 ○遠足の学習をし、見通しを持つことができる。 ○遠足でどんなことをしたいか自分で行えることができる。 ○おやつを買うことができる。 【押し花はがきやしおり作り】 ○自分で考えて押し花をはがき(しおり)の上に載せ作ることができる。 ○作ったのはがきに手紙を書いて出展 【作品展の準備をしよう】 ○自分たちの今までの作品を展示し、友だちにしてみよう。 ○友だちと協力して準備をする。 【紙漉教室をしよう】 ○友だちや先生方に紙漉の方法を教え、一緒に楽しむことができる。 【豆餅をしよう】 ○煎で豆の数を数えたり、グラフに表したりできる。 ○出した豆を自分で考えることができる。 【ひなまつり】 ○ひな祭り絵の計画を立てられる。 ○ひな祭りに楽しく参加できる。 【卒業・進級を祝う会】 ○6年頃に楽しんでくれる会を考えることができる。 ○今年の思い出を絵や立て書ける ○進級する学年に進む気持ちを育てる。											
	【買い物に行こう】 ○買い物の計画を立てることができる。 ○買い物をする 【料理をしよう】 ○自分の仕事ができる。 ○友だちと協力して準備や後始末ができる。 【カレンダーを作ろう】 ○自分で数字を書いてカレンダーを作ったり、絵柄を考 【パンコンで遊ぼう】 ○パソコンの基本的な使い方を知り、教師もしくは一人一人											
水 遊 び ・ プ ー ル												雪 遊 び ・ そ り ・ ス キ ー

「はみがきをしよう Part I」

カラーテスター(うがいバージョン)



健康ノート

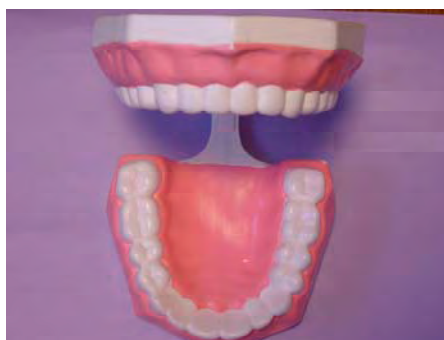


※磨き残しのチェック

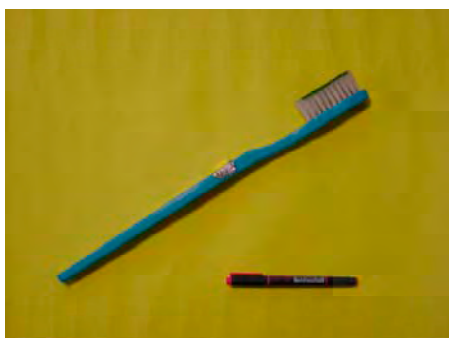
手鏡



歯の模型

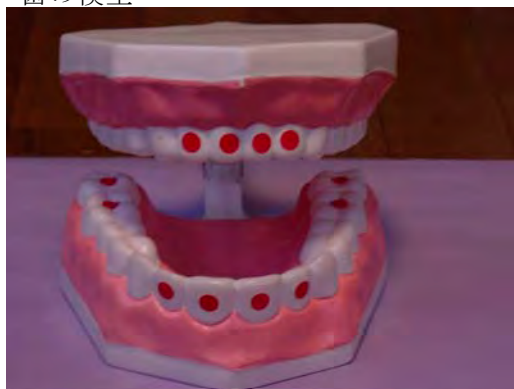


歯ブラシの模型



「はみがきをしようPartⅡ」

歯の模型

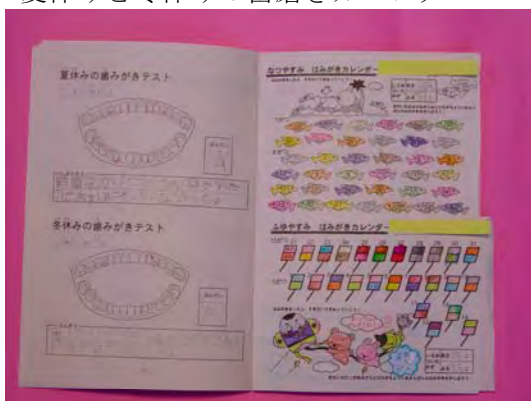


フィルムケースにカラーテストを入れた物と綿棒

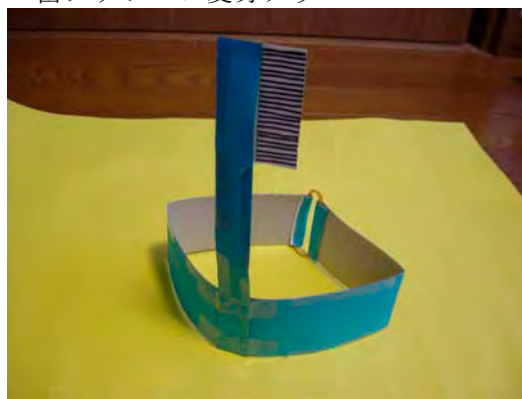


※本時で磨くところがわかるようにシールを貼る。
歯ブラシの模型も各3個ずつ指導者分用意する。

夏休みと冬休みの歯磨きカレンダー



歯ブラシマン変身グッズ



歯ブラシマンからごほうび

